

5月臨時会討論(要旨)

討論は議案や請願に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。

森川ヤスエ議員 (日本共産党)

議案第36号に賛成

日本共産党鈴鹿市議団は、課税限度額の見直しについては、地方自治法という緊急を要する案件ではないとの立場だが、軽減の見直しの内容を重視して反対しない。

しかし、3月議会で国保税の大幅な引き上げが行われており、今回の軽減の見直し程度では市民の国保税の重税感が薄れない。構造的に基盤の弱い国保会計は、市民負担で賄うには限界を超えている。他の自治体のように、一般会計からの補填などによって増税を抑える制度的な検討をあらためて求めて賛成する。

議案第37号に反対

厚生労働省の2015年教育・保育施設等における事故報告集計によると、保育所での死亡事故14件中13件は3歳未満児である。また14件中9件は、認可外保育所で起こっている。この事実から、待機児対策は規制緩和で詰め込み保育や無資格保育者を増やすのではなく、保育所の増設で定員を増やし、保育士不足の大本である労働条件、とりわけ非正規雇用をなくし、賃金の引き上げを行うなど保育士の処遇改善に取り組むことで対応すべき問題であると考え、今回の条例改正に反対する。

5月臨時会議決一覧表

全会一致で可決した議案

議案第36号 「専決処分の承認について」
地方税法施行令などの一部を改正する政令を受け、平成28年度の市税の賦課事務を進める上で必要な改正事項に関して、鈴鹿市税条例の一部を改正する専決処分を行ったことについて承認を求めるものです。
議案第38号 「鈴鹿市監査委員の選任同意について」
議会選出の鈴鹿市監査委員について、宮本正一議員を選任することに同意を求めるものです。

賛成多数で可決した議案 (表決が分かれた議案)

議案第37号 「鈴鹿市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」
建築基準法施行令の改正により、特別避難階段に係る規制が合理化されたことに伴い、小規模保育事業A型・保育所型事業所内保育事業所の避難用の施設や設備に係る基準を改正しようとするものです。
また、全国的な保育所不足に対する国の待機児童対策の一環として、幼稚園教諭や小学校教諭、養護教諭を保育士とみなすこと、さらに、条件付きで追加的に確保しなければならない保育士の数の範囲内で、保育士と同様の知識・経験を有すると認めるものを保育士とみなす特例的運用を可能にしようとするものです。

表決が分かれた議案に対する各議員別の賛否状況【賛成：○ 反対：×】

※議案第36号・議案第37号の議決は議長・副議長の選挙前に行われています。

会派名(※)	平明の会					緑風会				鈴鹿の風				リベラル鈴鹿			公明党		市民クラブ			日本共産党		無								
議員名	野間芳実	原田勝二	矢野仁志	森喜代造	宮木健	森雅之	山中智博	宮本正一	今井俊郎	藪田啓介	山口善之	平畑武	後藤光雄	中西大輔	永戸孝之	明石孝利	平野泰治	板倉操	水谷進	森田英治	伊東良司	池上茂樹	藤浪清司	船間涼子	大西克美	中村浩	市川哲夫	石田秀三	森川ヤスエ	橋詰圭一	大杉吉包	
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※会派名の「無」は「無所属」です。 ※議長 大杉吉包は原則として採決に加わりません。

会派等構成員一覧 (平成28年5月17日現在)

(◎は会派代表者)

自由民主党 鈴鹿市議団	◎野間 芳実 原田 勝二 矢野 仁志 森喜代造 宮木 健 森 雅之 山中 智博	鈴鹿の風	◎中西 大輔 永戸 孝之 明石 孝利 平野 泰治
	◎藪田 啓介 大杉 吉包 今井 俊郎 山口 善之 宮本 正一 平畑 武		◎藤浪 清司 池上 茂樹 船間 涼子
緑風会	◎板倉 操 水谷 進 森田 英治 大窪 博 伊東 良司	市民クラブ	◎大西 克美 中村 浩 市川 哲夫
リベラル鈴鹿		日本共産党	◎石田 秀三 森川ヤスエ 橋詰 圭一
		無所属	後藤 光雄 (議長)

市議会傍聴のご案内

※日時が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局へご確認ください。電話382-7600

- ◆傍聴できる会議 本会議・常任委員会・議会運営委員会・全員協議会・各派代表者会議・広報広聴会議・議会だより編集会議
- ◆会議開催予定 市議会のホームページや市役所の掲示板などでお知らせします。

テレビ中継のお知らせ

本会議の全日程を、CNSテレビ(デジタル122ch)で生放送します。放送時間は、午前10時(開会時間)から会議の終了までとなります。ぜひご覧ください。